

形 式：皮膚がん

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	基底細胞癌	
	タイプ	医学専門情報	
タイトル情報	論文の英語タイトル	Risk of subsequent basal cell carcinoma and squamous cell carcinoma of the skin among patients with prior skin cancer. Skin Cancer Prevention Study Group.	
	論文の日本語タイトル	以前に皮膚癌を治療した患者の中で別の BCC/SCC が発生するリスクについて	
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	BCCCQ19-2	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1 つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (IV)	
	Pubmed ID	1597912	
	医中誌 ID		
	雑誌名	JAMA	
	雑誌 ID		
	巻	267	
	号	24	
	ページ	3305-10	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	1992	
著者情報		氏名	所属機関
	筆頭著者	Karagas MR	Department of Community and Family Medicine, Dartmouth Medical School Hanover
	その他著者 1	Stukel TA	
	その他著者 2	Greenberg ER	
	その他著者 3	Baron JA	
	その他著者 4	Mott LA	
	その他著者 5	Stern RS	
	その他著者 6		
	その他著者 7		
	その他著者 8		

一次研究の 8 項目	目的	以前に皮膚癌を治療した患者の中で別の BCC/SCC が発生するリスクについて追跡調査し、その患者の特性とライフスタイルを検証。	
	研究デザイン	コホート研究	
	セッティング	Clinical center in Los Angeles Calif, San Francisco, Calif Minneapolis, Minn Hanover, NH	
	対象者	1980~1986 年の間に BCC/SCC と診断され、調査開始時には病変が存在しなかった 1805 例（ β カロチンに関するランダム化比較試験参加者）	
	対象者情報（国籍）	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず （ 2 ）	
	対象者情報（性別）	1.男性 2.女性 3.男女区別せず （ 3 ）	
	対象者情報（年齢）	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず （ 22 ）	
	介入（要因曝露）	調査開始から新たな BCC/SCC が発生するまで。	
	エンドポイント（アウトカム）	エンドポイント	区分
	1	BCC/SCC の初回発生	1.主要 2.副次 3.その他（ 1 ）
	2	BCC/SCC の二次発生	1.主要 2.副次 3.その他（ 1 ）
	3		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	4		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	5		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	6		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	7		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	8		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	9		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	10		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	主な結果	1 病巣ないしそれ以上の新規皮膚癌が発生するリスクは 3 年目で 35%、5 年目で 50%であった。 BCC と SCC の両者ともに、60 歳以上の男性で、日光ダメージが強く、日焼けしやすい患者によりリスクが高い結果となった。さらに、SCC に関しては喫煙との関連が指摘された。 現在も喫煙している群（リスク比, 2.01; 95% CI, 1.21~3.34）、以前に喫煙していた群（リスク比, 1.62; 95% CI, 1.07~2.47） BCC に関しては喫煙との関連は見出さなかった。	

	結論	メラノーマ以外の皮膚癌の既往がある患者では、5年後に新たな同じ組織型の皮膚癌が発生する頻度が高くなる。このリスクと関係がある要因は、かつて発生した皮膚癌の数、日光ダメージ、日光に対する感受性である。SCC と喫煙に関しては警鐘を鳴らして今後も調査が必要である。
	備考	
レビューワーコメント	レビューワー氏名	神谷秀喜
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（ IV ） 多数症例の追跡調査であり、そのリスクファクターを検証している。